

試験測定	特徴・方法	対象サンプル	測定内容
付着剥離試験(簡易)	クロスカット試験、接着テープ剥離	フィルム、コート膜、ペースト膜	基盤の目にカットし、接着テープにて剥離する。 簡易型の付着性管理用。初期評価用。

基板上に作成された薄膜の付着力を簡易的に定量評価できます。(JIS K5600「塗料一般試験方法」に準拠しています)

- ・専用のカット用ブレードを用いて、薄膜を25マスの基盤の目にカットします。薄膜の応力が大きい場合は、この段階で部分的に剥離が生じます。
- ・その後、剥離力が判明しているスコッチテープを張り付けて、速やかに剥離します。
- ・残存しているマス目をカウントすることで、付着力を定量化します。
- ・塗料、めっき膜、蒸着膜、ラミネート膜、ペースト膜、微粒子分散膜などの比較的の付着力の低いコート膜に適しています。
- ・二次電池のセパレータ、活性層の付着性、UV硬化フィルム、プライマー層などの剥離評価などにも利用できます。



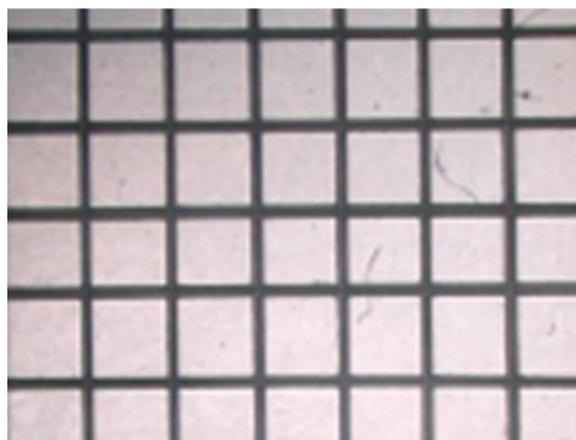
カット用ブレード



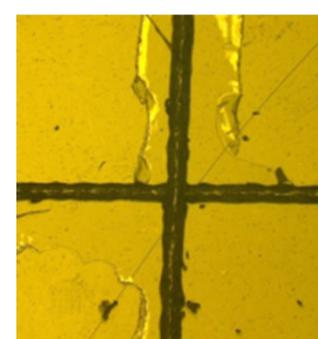
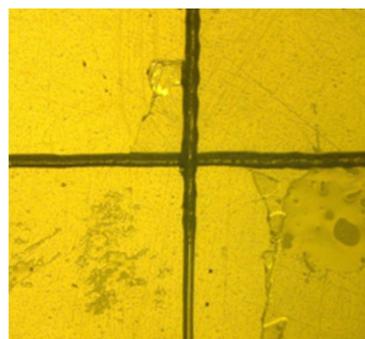
カット用治具
(先端にブレードを取り付ける)



剥離用接着テープ



クロスカット後



テープ剥離後(光学顕微鏡)

通常、マス内で部分剥離が生じます。この場合は剥離点としてカウントします。